

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 31日

事業所名 KTC放課後等デイサービス はぐぽん大橋駅前

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	2 職員の配置数は適切である	5		プラス一人以上の配置を調整している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6	階段には両サイド手すりの設置	必要に応じてスタッフによって配慮できる体制にします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		・改善提案および効果の確認 ・職員の個人の目標設定と振り返りの仕組み	職員が各自、6ヶ月ごとの目標設定と振り返りを行なっていることで、個々のスキルアップに繋がっています。各自の目標に業務的な改善内容を具体的に入れることでの参画を目指します。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		・評価表以外のアンケートによる調査	いただいたご意見を反映した支援内容および活動内容の提供に努めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		1回/年に公表	前回公表後に全員へ伝達、今回実施前にも伝達した。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		第3者への外部評価は実施していない。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		職員同士による内部研修	支援の向上に関する研修(1回/週)に加え、年間計画にもとづいた内部研修の実施の動きを継続します。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		分析しやすいアセスメント様式を作成	最近の様子や課題の聞き取りを行ない、サービス等利用計画の内容と目標を合致させて、より最適な計画の作成をして分析しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		同上	継続的に改善意識を持ち、より良いアセスメント様式へ更新していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	プログラム実施案	プログラムの立案と実施を全員で行なっていますが、全員が同じ水準で出来るよう、研修やOJTを漸次進めます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		活動予定表(予約表)	毎月固定することで継続的な取り組みを狙っている内容以外は、プログラム実施の目的が多様化するよう努めています。継続して、多様な活動の提供に努めます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3		休日は集団活動の実施回数を増やしたり、外出などの活動の提供に伴う昼食時の食事支援等の課題への支援も行なっていますが、より個別性のある課題を設定していきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		事業所の特色である集団活動の中から個別的な課題を見出して支援していく計画を、よりブラッシュアップしていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		当日の予定表	朝礼およびブリーフィングの実施による確認を継続します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		申し送り記録およびケース記録	終礼の実施および翌日以降への申し送り記録をより整備していきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		支援記録とケース記録	サービス提供記録の記載内容の質を高めるための研修やOJT等を適時実施していきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			モニタリングの結果と、面談によるニーズおよび課題の確認をした結果を踏まえて時期の計画を立案することを継続します。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5		予約表に記載	成功体験の積み増しにより、当事者が卒後に社会で自立するためのスキルアップに、よりつながると思われる支援に努めます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			児童発達支援管理責任者だけでなく全スタッフ、お子様の状況を把握し、支援の方向性について議論できるスタッフの育成を心がけています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			学校お迎えの引継ぎの際に情報を共有できるよう先生にお声掛けさせていただきます。3者同意のもと面談にも積極的参加していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	医療ケア児を受け入れる場合は整える	現在、医療ケアが必要なお子様はご利用でないが協力医療機関との連携は継続している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		初期アセスメントが不足している場合、就学前の情報収取ができる体制を構築していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3			次のサービスへの移行や事業所の異動などの際にケースの引継ぎができるよう準備していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			今後、必要に応じて研修受講等を検討していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		以前は行っていたがコロナ禍ということもあり控えている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		3		参加申し込みを行うもコロナによる中止等によって参加できていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		まだまだ不足している点もあり引き続きペアレントトレーニングの理解を深めることができるよう、研修等を実施していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			ご相談をお受けした場合は、可能な限りの相談支援をさせていただき体制を継続します。適切な相談援助ができるよう職員のスキルアップを図ります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4			保護者様同士が集まる機会の提供を実施したがまだ保護者同士の交流には至っていない為、もっとアピールしていきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		毎利用時の引継ぎでしっかり話を聞き取る	苦情をお受けすることのないように、支援と接遇についてのスキルアップを図っていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		メール・Facebook等による発信を継続します。	
	35	個人情報に十分注意している	6		鍵付き書庫にて管理しています	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6		イベントに招待	年に2回、学校の先生、相談員さんなど招待するイベントを実施した。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			契約時に保護者への説明と新職員には初期研修で周知しています。また定期的な訓練時にも再度確認と保護者への通知を行います。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的な訓練(2回/年)で行なったことを実際の場面で実践できるための訓練ができる状態を目標とします。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		職員による内部研修実施、欠席者もビデオ研修が可能	定期的(4回/年)の内部研修と委員会での体制確認を実施します。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5			必要に応じて保護者とご本人の意向を尊重し随時検討します。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		アレルギー一覧	アレルギーをお持ちの方の情報が見えるようにファイリング書庫にて管理
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・危険予知トレーニング ・リスクアセスメント共有	起きうるヒヤリハットを事前に洗い出して対策を検討することを職員で共有しています。この取り組みを継続します。